

G20開発大臣会合コミュニケ
2021年6月29日
(骨子)

途上国の新型コロナからの回復に向けた支援

- G20開発大臣は、途上国の新型コロナ危機からの克服への支援にコミットし、グローバルな対応を求めるために、イタリア議長国下において初めて会合を持った。
- あらゆるレベルの機関を透明で説明責任を有するものとするを含め、UHC 達成を含む SDGs のすべてを加速させるための土台を築くことが国際社会の課題。
- パンデミックの克服は、安定的で持続するグローバルな回復の前提条件である。ACT アクセラレータとの協働も通じた、ワクチンを含むコロナ関連物資へのアクセス拡大が必要。日本と Gavi の共催による COVAX ワクチン・サミットの成果を歓迎する。
- イタリア議長国下においては、持続可能な開発のための資金調達を強化し、地方における SDGs の達成に向けた取組に注力する。

持続可能な開発のための資金調達

- G20は、途上国の喫緊の流動性ニーズと債務脆弱性に対応するため、債務支払猶予イニシアチブ(DSSI)の2021年末までの最終延長、DSSI後の債務措置に係る共通枠組等を含む措置を講じてきた。
- G20は、途上国における持続可能な開発のための政策一貫性を促進するために、統合型国家財政フレームワーク(INFF)の採用を支援すると共に、持続可能な開発のための公的総支援(TOSSD)の採用について任意で検討する。
- 債券を含め持続可能性に関連した資金調達手段が、途上国の SDGs 資金調達ギャップ縮小に向けた資金動員に重要な役割を果たすことを確認した。
- 国内・国際的な資金調達は、透明性と相互説明責任の重要性に留意して行う。

地域開発と地方におけるSDGs推進

- 新型コロナの影響を緩和し、より良い回復を実現するための重要な主体である、地方当局への支援にコミットする。
- 「質の高いインフラ投資に関するG20原則」を通じた地方と都市の連結性強化は、地方における SDGs 推進に貢献する。
- 様々なレベルでの対話や知識の共有のため、「地方における SDGs 推進と中間都市のためのG20プラットフォーム」の設立や好事例集の作成に取り組む。